



## 平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年2月9日

上場会社名 株式会社ストライダーズ 上場取引所 東  
 コード番号 9816 URL <http://www.striders.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 早川 良一  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 兼 CFO (氏名) 若原 義之 TEL 03 (5777) 1891  
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	4,684	25.2	246	△1.5	258	5.9	149	△12.5
28年3月期第3四半期	3,741	41.9	250	436.8	244	466.2	171	511.5

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 170百万円 (81.4%) 28年3月期第3四半期 93百万円 (469.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	1.69	1.67
28年3月期第3四半期	1.93	1.91

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第3四半期	3,772	1,822	48.1	20.42
28年3月期	3,605	1,646	45.4	18.46

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 1,813百万円 28年3月期 1,637百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年3月期	—	0.00	—		
29年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,150	21.9	260	△12.5	272	△1.9	174	28.6	1.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期3Q	88,820,896株	28年3月期	88,730,896株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	26,098株	28年3月期	26,098株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期3Q	88,714,543株	28年3月期3Q	88,704,949株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用環境の改善や個人消費の底堅さから緩やかな回復基調にあるものの、中国をはじめとする新興国の景気減速基調や英国の欧州連合（EU）離脱問題による先行き懸念、欧米での新リーダーの誕生など地政学的リスクの高まりなどから国内景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような経済状況下、当社グループ（当社及び連結子会社）は、それぞれの事業において新規顧客獲得に向けた営業活動や経費削減等に取り組むとともに、新たな収益源の獲得に向けた事業投資等についても検討してまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は売上高4,684百万円（前年同四半期比25.2%増）、営業利益246百万円（前年同四半期比1.5%減）、経常利益258百万円（前年同四半期比5.9%増）、また特別損失として投資有価証券評価損47百万円を計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は149百万円（前年同四半期比12.5%減）となりました。

## ① I T 関連事業

I T 関連事業につきましては、モバイルリンク株式会社において、既存システムの助成金を利用したシステム入替の提案をする営業活動を行うとともに、台湾との合弁会社において、自社ブランドの車載機の開発に取り組んでまいりました。この結果、当第3四半期連結累計期間の I T 関連事業は売上高247百万円（前年同四半期比2.7%増）、営業利益10百万円（前年同四半期比654.2%増）となりました。

## ② 企業再生再編事業

企業再生再編事業につきましては、M&A グローバル・パートナーズ株式会社において、資産売却等のリストラによる収支改善や資金調達支援、M&Aに関するコンサルティング業務等に取り組んでまいりましたが、大型案件を受注することはできませんでした。

この結果、当第3四半期連結累計期間の企業再生再編事業は売上高30百万円（前年同四半期比0.0%増）、営業利益26百万円（前年同四半期比10.0%減）となりました。

## ③ 不動産賃貸管理事業

不動産賃貸管理事業につきましては、株式会社トラストアドバイザーズにおいて、レジデンス事業における積極的な営業活動により管理物件の戸数が増加し、また、不動産売買事業も好調に件数を伸ばしましたが、一時的に空室に対する家賃保証をいたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の不動産賃貸管理事業は売上高3,150百万円（前年同四半期比46.0%増）、営業利益117百万円（前年同四半期比17.8%減）となりました。

## ④ 食品関連事業

食品関連事業につきましては、有限会社増田製麺において、神奈川エリアにおける横浜家系ラーメンを中心に中華麺等の製造販売を行っております。ラーメン店の閉店や自家製麺等への切り替え等により受注高は一時減少いたしました。顧客のニーズに沿った商品の提供による新規受注や既存店の店舗拡大により受注高も回復いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の食品関連事業は売上高121百万円（前年同四半期比1.4%増）、営業利益9百万円（前年同四半期は営業利益0百万）となりました。

## ⑤ ホテル関連事業

ホテル関連事業につきましては、現在、成田空港エリアで成田ゲートウェイホテル、倉敷美観地区エリアで倉敷ロイヤルアートホテルを運営しております。いずれのホテルも周辺ホテルとの価格競争により宿泊単価は下落しましたが、経費削減に努めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間のホテル関連事業は売上高1,135百万円（前年同四半期比4.8%減）、営業利益202百万円（前年同四半期比0.7%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は2,037百万円となり、前連結会計年度末に比べ91百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が98百万円、たな卸資産が37百万円増加したものの、有価証券が35百万円減少したことによるものであります。固定資産は1,734百万円となり、前連結会計年度末に比べ75百万円増加いたしました。これは主に投資有価証券が92百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は3,772百万円となり、前連結会計年度末に比べ167百万円増加いたしました。

## (負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は767百万円となり、前連結会計年度末に比べ43百万円増加いたしました。これは主に買掛金が39百万円、1年内返済予定の長期借入金が18百万円増加したことによるものであります。固定負債は1,182百万円となり、前連結会計年度末に比べ52百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が40百万円、長期預り敷金保証金が15百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は1,950百万円となり、前連結会計年度末に比べ8百万円減少いたしました。

## (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は1,822百万円となり、前連結会計年度末に比べ176百万円増加いたしました。これは主に新株予約権の行使により資本金および資本剰余金がそれぞれ3百万円増加し、親会社株主に帰属する四半期純利益149百万円を計上したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は48.1%（前連結会計年度末は45.4%）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、平成29年3月期の通期連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日平成29年2月9日公表の「特別損失（投資有価証券評価損）の計上並びに業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

これによる当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

## (4) 追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,419,638	1,517,786
売掛金(純額)	112,237	111,719
有価証券	51,023	15,721
たな卸資産	224,573	262,347
繰延税金資産	39,997	39,997
その他	98,508	90,020
流動資産合計	1,945,978	2,037,592
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	865,106	852,137
土地	348,663	348,663
その他(純額)	30,363	37,581
有形固定資産合計	1,244,132	1,238,382
無形固定資産		
のれん	208,685	189,149
その他	12,009	21,810
無形固定資産合計	220,694	210,959
投資その他の資産		
投資有価証券	54,379	146,793
関係会社株式	78,645	77,237
その他	61,226	61,244
投資その他の資産合計	194,251	285,275
固定資産合計	1,659,078	1,734,618
資産合計	3,605,056	3,772,210
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	63,046	103,042
1年内返済予定の長期借入金	149,632	168,588
未払金	82,273	64,907
未払法人税等	40,677	41,858
賞与引当金	21,929	15,139
預り金	101,100	89,938
金利スワップ	44,800	35,713
その他	220,355	248,343
流動負債合計	723,816	767,529
固定負債		
長期借入金	819,266	778,322
退職給付に係る負債	8,967	9,761
長期預り敷金保証金	244,695	228,711
繰延税金負債	162,258	165,733
固定負債合計	1,235,187	1,182,528
負債合計	1,959,003	1,950,057

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,578,674	1,581,711
資本剰余金	267,219	270,256
利益剰余金	△160,867	△11,214
自己株式	△3,020	△3,020
株主資本合計	1,682,005	1,837,733
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	-	10,040
繰延ヘッジ損益	△44,800	△35,713
為替換算調整勘定	-	1,268
その他の包括利益累計額合計	△44,800	△24,403
新株予約権	8,219	8,169
非支配株主持分	628	654
純資産合計	1,646,052	1,822,153
負債純資産合計	3,605,056	3,772,210

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	3,741,208	4,684,364
売上原価	2,202,003	3,147,508
売上総利益	1,539,204	1,536,856
販売費及び一般管理費	1,288,957	1,290,483
営業利益	250,246	246,373
営業外収益		
受取利息	6,908	544
受取配当金	2,435	401
有価証券売却益	—	6,138
受取手数料	9,798	11,921
受取事務手数料	3,150	2,800
その他	11,579	7,037
営業外収益合計	33,872	28,844
営業外費用		
支払利息	14,782	13,363
持分法による投資損失	6,635	2,675
為替差損	13,582	—
その他	4,963	535
営業外費用合計	39,963	16,574
経常利益	244,155	258,643
特別損失		
投資有価証券売却損	1,087	—
投資有価証券評価損	3,611	47,682
解約違約金	9,965	—
特別損失合計	14,664	47,682
税金等調整前四半期純利益	229,491	210,960
法人税、住民税及び事業税	63,369	62,069
法人税等調整額	△4,425	△787
法人税等合計	58,943	61,282
四半期純利益	170,547	149,678
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△539	25
親会社株主に帰属する四半期純利益	171,086	149,652



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	170,547	149,678
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△75,034	10,040
繰延ヘッジ損益	△1,780	9,087
為替換算調整勘定	—	1,268
その他の包括利益合計	△76,815	20,396
四半期包括利益	93,731	170,075
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	94,270	170,049
非支配株主に係る四半期包括利益	△539	25

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間（自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	I T 関連 事業	企業再生 再編事業	不動産賃貸 管理事業	食品関連 事業	ホテル関連 事業			
売上高								
外部顧客への 売上高	240,449	30,000	2,158,045	119,990	1,192,723	3,741,208	—	3,741,208
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	48	16	65	△65	—
計	240,449	30,000	2,158,045	120,039	1,192,740	3,741,273	△65	3,741,208
セグメント利益	1,338	29,816	143,153	292	201,179	375,780	△125,533	250,246

(注) 1. セグメント利益の調整額△125,533千円は、主に管理部門にかかる人件費及び経費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第3四半期連結累計期間（自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	I T 関連 事業	企業再生 再編事業	不動産賃貸 管理事業	食品関連 事業	ホテル関連 事業			
売上高								
外部顧客への 売上高	247,023	30,000	3,150,351	121,767	1,135,220	4,684,364	—	4,684,364
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	12	—	12	△12	—
計	247,023	30,000	3,150,351	121,779	1,135,220	4,684,376	△12	4,684,364
セグメント利益	10,095	26,835	117,630	9,488	202,532	366,581	△120,208	246,373

(注) 1. セグメント利益の調整額△120,208千円は、主に管理部門にかかる人件費及び経費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。